

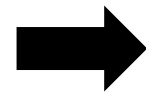
開発手順フローチャート(工程図)

①食器の基礎設計(食器の種類、寸法、容量、模様等)

例)
 種類: 楕円皿 寸法: 190×120×30
 容量: 満水350ml 模様: 全体「そぎ」調

基礎設計図面

基礎設計図面には、楕円皿の平面図、側面図、および断面図が示されています。寸法は190mm x 120mm x 30mmと記載されています。また、容量は満水350mlとあり、模様は全体「そぎ」調と指定されています。図面には「shinco」のロゴも確認できます。



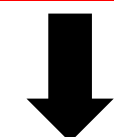
②陶芸作品の製作

この工程では、陶芸作品の製作が行われます。写真には、手で粘土を成形している様子と、完成した白い楕円皿が示されています。



③三次元測定、立体形状の取得

この工程では、三次元測定機を使用して立体形状を取得します。写真には、測定機が皿を測定している様子と、取得された3次元データ（点の集合体）の表示が示されています。



④三次元CADデータ(パソコンにて編集可能なデータ)に変換

点の集合体
 変換
 面

この工程では、取得された3次元データをパソコン上で編集可能なCADデータに変換します。写真には、点の集合体から面に変換された3次元CADデータの表示が示されています。



⑤形状修正

拡大率変更(寸法調整)、
 高台、水切りの追加

この工程では、3次元CADデータに基づいて形状を修正します。写真には、拡大率変更（寸法調整）、高台、水切りの追加などの修正が行われている様子（赤い部分）が示されています。



⑥金型製作、樹脂成形

この工程では、金型を使用して樹脂成形を行います。写真には、金型と成形された緑色の樹脂製の楕円皿が示されています。